

福本和夫 （号） 評論家。明治二十七年七月四日鳥取縣生れ、昭和五十八年十一月十六日没（一八九一—一九三三）。大正九年東京帝國大學法科大學政治學科卒。松江高等學校、山口高等商業學校各教授を經て二十一年歐洲留學。十二年歸國し、十五年日本共產黨政治部長と、翌年一十七年テーゼくよう失脚。昭和二年二・一五事件（黨員全國的大檢舉）で下獄、十七年出獄後は文化史研究に従事。筆名北條一雄。

著書『唯物史觀と中間派史觀』（北條一雄名、大正十五年二月）二十一年

『希望室閣』、『無産階級の方向轉換・第一分冊』（組合主義的闘争のよう

社會主義的闘争のよう）（同、大正十五年四月十四日希望室閣）、『理論

闘争』（大正十五年十一月十日）『白

揚社』、『方向轉換』（同、昭和一

年一月十七日白揚社）、『經濟學批

判のたぐひ』（昭和二年四月二十二

日改清社）、『獄獄中十四年』（昭

和二十一年四月十日創建社）、『獄

中十四年』（昭和二十一年五月十日創建社）、『辯證法例話』（昭和

二十一年九月一日北光書房）、『北齋の藝術—北齋藝術の解剖と鑑

賞』（昭和二十二年六月五日北光書

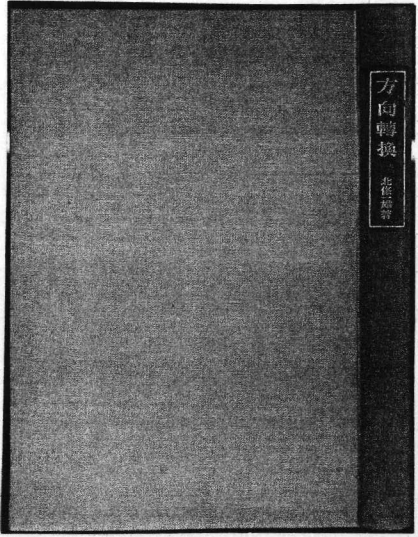
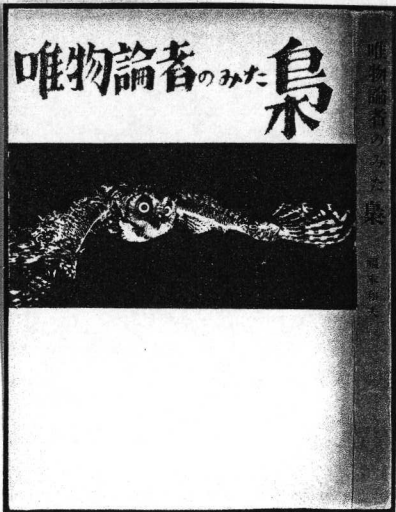
房）、『北齋と印象派の入り々』（昭

和二十二年十一月二十日彰考書院）、

『唯物論者のみま集』（昭和二十七

年十一月十日出版東京）、『書味真

髓』（昭和四十一年六月十五日フジ



出版社)等。